2024 年度　勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に関する取り組み事項

当院では医師、看護師等の医療関係職の医療の専門職種が専門性を必要とする業務に専念することにより、効率的な業務運営がなされるよう、「勤務医負担軽減計画」を策定し、次のとおり各専門職種の負担を軽減する取り組みを行っています。

1. 看護業務

・事前に確保されている動脈ラインからの動脈血採血
・ベッドメイキングや物品補充、患者の検査室への案内などの業務を看護補助者に移行し、看護師は医　師と患者家族が意思の疎通をはかれるよう、医師の補足的な説明や調整を行う
・病棟看護師による入院パスを用いた手術検査予定の説明
・特定の看護師による糖尿病患者の指導医と協働の外来診療と医師の包括的指示に基づく血糖値に応じ　たインシュリン調整
・退院調整部門の設置による、退院調整業務の実施
・外来患者に対し、医師の指示のもと身体所見・検査結果を確認して心電図検査の実施

2. 薬剤管理

・処方内容の確認（用法・用量・相互作用等）
・入院患者の持参薬の識別
・入院患者への服薬指導の実施
・化学療法における服薬指導の実施、抗がん剤の無菌製剤処理・レジメンの管理・副作用軽減のための　処方提案
・医薬品情報の提供

3. 事務業務

・病棟、外来を中心に医師事務作業補助者を配置
・医師事務作業補助者による生活保護及び介護保険の意見書、保険関係書類等の文書作成補助
・社会福祉士による診療説明同席、介入

4. 検査業務

・外来患者については中央採血室にて採血、病棟患者については病棟看護師が採血
・不妊治療、糖尿病教育入院等における診療支援
・検査レポート、生理検査レポート等の迅速な作成
・検査時間の効率化
・検査説明の実施

5. 医師の勤務体制

・勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制の実施
　―勤務計画のチェック実施
・予定手術前日の当直や、夜勤に対する配慮
　―計画に対するチェック、手術日程の調整実施
・当直翌日の業務内容に対する配慮
　―業務負担軽減の促進実施
・交代制勤務・複数主治医実施
　―全病院的な複数主治医の環境づくりの推進
・短時間正規雇用医師の活用実施
　―環境整備、リクルーティング促進
・常勤医師負担軽減のための非常勤医師の活用
　―非常勤医師の雇用促進
・時間外労働の管理
　―事務職による介入、改善促進